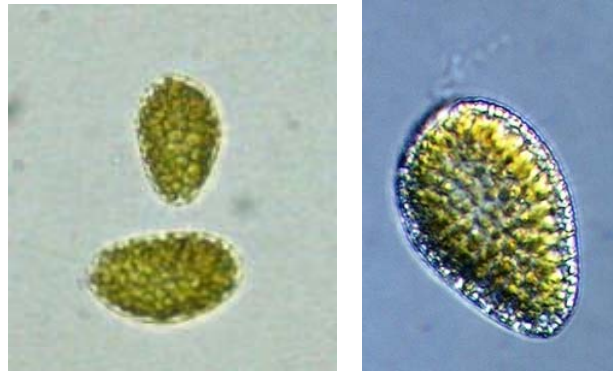


シャットネラ マリーナ

赤潮生物種 : *Chattonella marina* (Subrahmanyam) Y.Hada et Chihara
ラフィド藻綱ラフィドモナス目ヴァキュオラリア科



左・右: 栄養細胞

- 大きさ : 長さ30～50 μ m、幅20～30 μ m
- 細胞の形態・色 : 単細胞、やや扁平な倒卵形または長倒卵形、後端はわずかに尖るか丸くなる。黄褐色。
- 遊 泳 : 細胞先端よりやや後方の位置から2本の鞭毛が伸び、うち1本の遊泳鞭毛を進行方向に伸ばし、ゆっくりと回転しながら泳ぐ。
- 類似種 : シャットネラ アンティーカと形態が似ており、本種の方が小型で全体的な丸さで区別するが、本種の大型化したものと変形したアンティーカでは判別が困難になる。
- 赤潮発生時期 : 6月～7月上旬
- 赤潮発生海域 : 鹿児島湾, 八代海
- 出現環境 : 水温23～26°C(5月下旬～7月中旬), 塩分30以下
- 被 害 : 主にブリ, カンパチ。鹿児島湾ではたびたび漁業被害が発生し、特に1977年, 1985年, 2003年には, 1億円を超える被害となった。
- 特記事項 : 魚毒性は強く, 致死細胞密度はブリ及びカンパチで約2,000cells/ml。



シャットネラ マリーナ赤潮による着色